

# 障害者就業支援シンポジウム ～人と職場に学ぶ継続雇用～

社会福祉法人 明光会

〒421-1211 静岡県静岡市葵区慈悲尾 180 番地

## 助成事業の概要

開催日時は平成 23 年 12 月 23 日（金・祝）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分。シンポジウムは 2 部構成とし第 1 部は「当事者・企業からの報告」第 2 部はパネルディスカッションとしました。

主催者である社会福祉法人明光会 寺田亮一理事長の挨拶に続き、来賓としてお越しいただいた財団法人日本社会福祉弘済会土田理事、上川陽子前衆議院議員よりご挨拶をいただきました。

第 1 部では企業で働く障害者の様子や当事者の声、雇用している企業の担当者が障害者に少しでも長く働いてもらうためにどう取り組んでいるか、どんな工夫をしているか等直接取材したものをビデオ上映しました。作業によっては働いている様子はなかなか見られませんが第 1 部で取り上げたのは自動車ディーラーでの洗車作業であったため作業の様子を映像化できました。

第 1 部と 2 部の間に平成 23 年 10 月 19 日に設立された静岡県障害者就業・生活支援センター連絡協議会の寺田亮一会長より同協議会の紹介をしていただきました。

第 2 部のパネルディスカッションは静岡県内にある 8 つの障害者就業・生活支援センターのうち 7 センターの就業支援担当者がそれぞれ「障害者の継続雇用」に関連する事例を持ち寄り報告しました。当事者、雇用主の視点から現状と課題を明らかにしようと思いました。

## 事業の成果

障害者が長く働きたい、企業が障害者に長く働いてもらいたいと願っているのにそうなっていない現状をもっと知ってもらいどうしたら長く働けるか、長く働いてもらえるかを考えるきっかけにはなったかと思います。

第 1 部の「当事者・企業からの報告」では職場でのなまの様子が見られてよかったという声がありました。家族が職場を訪問することはなかなかできないし、本人から話を聞いても作業の様子や周りの社員との関わり方はよくわからないのが現実です。普段の働きぶりを理解してもらえたらと思います。また会社の現場で指導している社員の話も参考になったとの感想もありました。反面、ビデオの編集やインタビューの仕方、環境に問題があったという指摘が多くありました。声が聞き取りにくい、せっかくのインタビューがもったいないという参加者の意見が多くありビデオ制作面で今後課題を残しました。

第 2 部ではパネルディスカッションにより企業にとってなじみの薄い障害者就業・生活支援センターの活動を知ってもらうことと障害者の継続雇用について地域による取り組み方の違いを明らかにしようと思いました。

各支援センターの活動については、事例の発表を通じて日頃の努力や苦労している点について知ってもらうことができ一定の成果が得られたと思います。労働と福祉、両方の分野の支援を行っている相談センターであること、多くの相談事例を抱えていること、国、県の施策と密接な関係が

あること等を理解いただきたいものと思います。

一口に就業支援と言ってもセンターによりいろいろは取り組み方があることや独自の活動についても紹介されたことは当事者だけでなく家族、他の支援者にとっても参考になったと思います。障害者の継続雇用について各センターの担当する地域特性からくる問題をクローズアップしようと思いましたがそこまでには至らず、今後目を向ける課題であると思います。

なお当日の様子は地元テレビ局のニュースや新聞でも報道されました。このことはこの問題に対する関心の高さを示すものであると思います。

## 今後の展開

---

静岡県における障害者の雇用率は、法定雇用率1.8%を下回り 1.61%となっています。「障害者の継続雇用」だけではなく新たな雇用をもっと拡大しなければならない状況です。

静岡県内8つの障害者就業・生活支援センターが、それぞれこのシンポジウムでの報告事例を参考に、企業への働きかけを積極的に行っていく必要があると思います。また各センターの担当する地域に特有の雇用問題があればそれに目を向け、解決策を講じていく活動を展開しようと考えています。

静岡県障害者就業・生活支援センター連絡協議会で相談担当者の研修を行って相談支援技術を高め、この活動を支えていきたいと考えています。